

## 4 日常活動

### (1) サイエンスタイム

昨年度まで月1回行っていた「ガリレオ集会」を今年度より毎週1回に増やし、「サイエンスタイム」として日課の中に位置付けている。「サイエンスタイム」は、体験活動を取り入れることで、児童が自然に対して興味や関心を更に高めることをねらいにしている。これまでに実施した活動は下記のとおりである。

回数	期 日	内 容
1	5月12日	「紙飛行機を作ろう」折り方、紙の種類などを工夫しよく飛ぶ紙飛行機を作る。
2	5月19日	「紙飛行機大会をしよう」全校児童で一番飛ぶ紙飛行機を大会で決める。
3	5月30日	「みんなの木を決めよう」縦割り班ごとに1年間継続して観察する木を決める。
4	6月6日	「夏、秋の花苗を植えよう」花壇に花の苗を植える。
5	6月20日	「葉っぱビンゴをしよう」5年生出題のビンゴに挑戦し、校庭で葉っぱを探す。
6	6月27日	「パズルに挑戦」阿蘇のカルデラやアンモナイトなどのパズルを組み立てる。
7	7月4日	「もうすぐ七夕」七夕にまつわる話や夏の星座の話聞く。
8	7月11日	「夏の自由研究に向けて」自由研究のまとめ方の説明を聞く。
9	8月29日	「長い根・太い根を探そう」縦割り班ごとに競争して探す。
10	9月18日	「みんなの木を観察しよう」夏の終わりになり、木がどのように変化したか観察する。
11	10月10日	「傘袋ロケットを飛ばそう」傘袋に空気を閉じ込めたロケットでの的当てゲームをする。
12	10月17日	「ドングリゴマを作ろう」校庭のドングリを拾い、ドングリゴマを作る。
13	10月24日	「秋の自然～写真ビンゴ～」校庭の秋を感じる生き物の写真ビンゴに挑戦する。
14	10月31日	「秋を見つけよう」秋を感じる生き物を見つけ、写真を撮る。
15	11月14日	「見つけた秋を調べよう」前回見つけた生き物を図鑑やインターネットで調べる。
16	11月21日	「見つけた秋を調べよう」前回見つけた生き物を図鑑やインターネットで調べる。
17	11月28日	「見つけた秋の発表練習をしよう」調べたことの発表練習をする。
18	12月5日	「発表会をしよう」縦割り班ごとに見つけた秋の発表会をする。
19	12月12日	「第2回パズルに挑戦」月のクレーターやプランクトンなどのパズルを組み立てる。
20	12月19日	「霜と霜柱をじっくり見よう」霜と霜柱をポケット顕微鏡で観察する。
21	1月16日	「みんなの木を観察しよう」冬になり、木がどのように変化したか観察する。

「次のサイエンスタイムは何をするんですか？」と尋ねる児童も多い。この活動を通して、児童が自然の事物現象に興味をもち、自ら自然にかかわっていかこうとする児童も増えてきた。今後も様々な活動を取り入れていく予定である。



ぼくの木です。



よく飛ぶように、折り方を工夫しています。

上位3名は校長先生から賞状とメダルが。優勝は〇君、記録19mでした。



じっくり観察して、たくさん発見をしました。



説明を聞いた後、パズルに挑戦。9ピースでも結構難しかったです。色や模様、スジを手掛かりに並べました。



袋に空気をパンパンにつめると、ロケットがよく飛びます。

どの班の根が長いでしょうか。



## (2) 科学研究作品展への取組

理科学習の発展的な内容や児童の疑問をもとに各学年で科学研究に取り組んだ。科学研究のテーマは、児童の素朴な疑問や気付きから設定している。取組を通して、児童の追究意欲の高さを改めて感じる事ができた。知りたいと思ったことを調べる中で新たな疑問が生まれ、さらに追究していく姿は、小さな科学者そのものであった。山鹿市の審査では学校から出品した7作品中4点が優賞、3点が良賞であった。4年生の作品は県展で「熊本県教育委員会賞」を受賞した。

1年「いな田小のかえるくんといもりくんのヒミツ」	市科学展 良賞
2年「学校のまわりのいきもの見つけた」	市科学展 良賞
3年「植物の根・くき・葉のひみつ」	市科学展 良賞
4年「うずの研究～水と空気の流れをさぐる～」	市科学展 優賞 県展 熊本県教育委員会賞
5年「稲穂の研究」	市科学展 優賞 県良賞
6年「どんな植物色素で液性を調べられるのかな」	市科学展 優賞
いなほ「すごいぞ！空気ほう」	市科学展 優賞